

特集号

緑ネット通信

No.64

緑のネットワーク・まつど

代 表：藤田 隆
 年会費：1000円
 口座番号：00170-9-696174
 連絡先：高橋盛男 090-2935-9444

都市の緑を残すためには、緑を見守り育む人のネットワークが不可欠です。私たちの活動の目的は、みどり特に樹林の保護・保全を願う人やグループと連携しその輪を広げ、豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることです。



第8回 オープンフォレスト in 松戸



市内に残された貴重な森を良好な環境として存続させ、未来の子どもたちに引き継ぐために、市民のみなさんに身近な森を知ってもらい、楽しんでもらい、その素晴らしさを身近に感じて、森を守る意義や課題、活動などを理解していただく機会として、2012年より実施してきた「オープンフォレスト in 松戸」。

ボランティア仲間で見識と力を合わせ、地元企業や事業所の協賛、地権者さんの協力と行政の頼もしいバックアップをいただき、今年も実施されました。お天気に恵まれない日もありましたが、期間中に森や会場を訪れた方は延べ 1,710 人(うち子ども 470 人)、受け入れにかかわったボランティアは390人でした。

森の文化祭 4月12日~14日

21世紀の森と広場パークセンターにて開催。森での活動の紹介、木製おもちゃで遊べるコーナー、恒例の草笛音楽隊の演奏など、多くの方々に楽しんでもらいました。

ボランティア仲間の協力で集めた「松戸の森で見られるドングリの木の実物展示」は、まるでミニ自然博物館のようでした。



ポスターは今年も千葉大生がデザインしてくれました



期間中 各森それぞれに公開日を設定。春の柔らかい緑が、訪問者を待っていました。



ターザンロープ



ブランコ楽しいよ



希少な植物のご案内



カントウタンポポ健在！



不思議なかたちのウラシマソウ



力作の看板がお出迎え



ドリルで穴あけ



竹林の説明



紙鉄砲作り



この森一番人気のバードコールづくり

・・・森によって楽しさはさまざま・・・



筍掘り



古墳にのぼる



バドミントン



森のヨガ



森カフェ



紙芝居



キンラン
花盛り



シール方式のアンケートに答えていただき、来年のオープンフォレスト開催に向けての募金もお願いしました。

緑と花のフェスティバル

4月29日 松戸市のイベントで、今年も緑推進委員会のスタンプラリーの実施に協力。里山活動のPRもしました。



里山応援団のブースでは、クラフトなどを楽しんで頂きました。



森めぐりツアー

4月21日

東松戸駅で集合し、4つの森をめぐりました。



野馬除土手の説明

竹林の整備は大変です



野うさぎがいるんですよ



最後は市川市のわんぱくの森へ



4月25日 関さんの森と溜ノ上の森、2つの森をめぐる「関さんの森観察会」は小雨の中、訪問者を樹齢200年を超すキリシマツツジの花が迎えてくれました。



根木内歴史公園で 田植えとお餅つき

5月11日 根木内小の家庭教育学級と近隣の小学生を含むボーイスカウトの101名(うち子ども62名)が参加しました。



泥んこになりながら田植え体験、アンコとキナコ（もちもち）の搗きたてのお餅を食べ、「楽しかった！」根っこの会の公園ボランティア活動は13年、田んぼイベントは10回目になります。



ってくれた。交通量の多い道のすぐそばに未整備の森があったことに少し驚いた。整備された部分と未整備の部分の様子の違いなど、説明を聞きながら、振り返ると、明るい緑に桜吹雪！！この景色を近所に分けたい気分になった。

ホダシの森では高齢者グループホーム「ひなたぼっこ」との交流体験や日頃の幼稚園保育園との交流などのお話を聞きながら、森の中でゆっくり過ごすことができた。

住宅地にある森の樹木は太陽を求めて上へ伸び、その結果、細い樹木が並ぶという特徴が3つの森に共通していた。

21世紀の森と広場に向かう途中、高木小学校の大クスノキを見学した。幹回り5、6メートル、高さ24メートル、樹齢は120年を超えるといわれている。その雄姿にしばし見とれた。ツアーの最終地点、21世紀の森と広場に到着し、森の文化祭とオープンフォレストの案内をして解散した。

住宅街で見られる花の名前を尋ねるなど、ゆったりとした行程で歩くことができたのは何よりだった。「歩けるかな」と不安がっていた男性も無事笑顔で到着し、満足した様子が印象的だった。

総会の報告と新年度のご挨拶

代表 藤田 隆

5月11日に総会を行いました。これまで行ってきた夏季の再発見ツアーは昨今の夏の気候に鑑み、お休みすることにしました。

今年度は森林環境譲与税によって、新たな取り組みが始まろうとしています。みどりについて大きく動く一年になると思います。今年一年もどうぞよろしくお願い致します。

オープンフォレストイベント再発見ツアー

春爛漫 新緑の金ヶ作の森を歩く 藤田 隆

4月14日(日)9時30分常盤平駅に参加者16人が集まった。スタッフは8人。囲いやまの森へ向かった。森に入るとシジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイスがさえずり、コゲラの地鳴きが聞こえた。腐朽木が伐採された跡が目立ち、大掛かりに伐採したことが伝えられた。森の中にはハンモックや木登りができる広場があり、南側にはステージが作られていた。周りはオオイヌノフグリ、ホトケノザ、ジロボウエンゴサク、ムラサキケマンの花がじゅうたんを敷き詰めたように咲いていた。

石川家のそばを通して、野中の森に到着した。住宅地に囲まれた森ということもあって、近所の人たちが利用する通路が二本交差していた。土地を所有する石川さんは「昔から使われてきた通路だから」とあえて通行を禁止していないという。近所の皆さんは、ここを通りながら森を見守ってきたのではないかと思った。

野中の森のグループは昨年後半に活動を始めたばかりで、今年度から本格的に整備を始めると意気込みを語

★松戸のみどり再発見ツアー50(観察学習会68)

次号通信(9月上旬)を再度確認ください。

「ヒガンバナ咲く里山風景から巨木の森へ(仮)」

9月18日(水)(予定) 9:30~12:30(小雨実施) 参加費300円(会員は100円)

集合 新京成線 常盤平駅 改札口 9:30集合 持ち物 飲み物、雨具

問い合わせ 090-2935-9444(高橋)

その他 歩きやすい服装でどうぞ